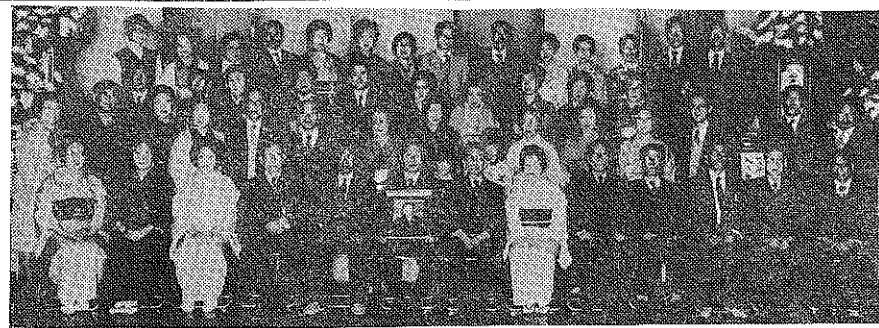


前田秋声師主催 入江岳秋追悼会

名古屋薩派の名人入江岳秋は昨年他界されたが、往年名古屋で錦心流の名星として名声を馳せた現住東京の前田秋声師は、絃友の



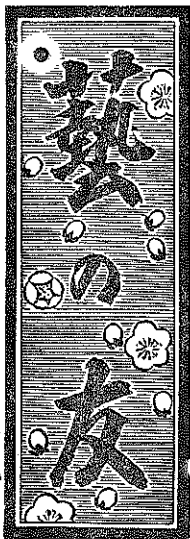
情として岳秋老追悼琵琶会を企画し去る三月桜花の候に中小企業会館ホールにて催し、名古屋秋声会の外静岡、浜松よりと地元筑前派大家が賛助出演あり盛会であつた。写真は当日の記念で(前列)右より奥村慧水、牧南水、柿沢堂峰、西村旭一声、小野鶴彦、入江夫人、前田秋声、入江英臣、森鶴翁、武田恒水、阿部秋子、石河旭豊、福田旭島。(二列)右三人目谷津水、川島、四人おいて平子、西川磯水、長谷川秋楓、お二人いて福岡旭楓。(三列)右より青山旭登、鬼頭紅春、箕浦旭声、後藤、前田夫人、兵藤紅敏、小沢貞二、近藤、須藤、小林、(以下略)

正絃会54年度 定期総会開催

参議院議員西郷吉之助氏会長の薩摩琵琶正絃会は、54年度通常総会を六月十七日午前十一時より芝愛宕山菜根で開催、五十三年度事業並に収支決算報告、五十四年度事業計画並に収支予算承認の件を上程し、承認可決して午後一時近く終了した。中食を共にして後演奏会を開き楽しんだ。

正絃会の物故者 追悼演奏会開催

薩摩琵琶正絃会の恒例物故者追



特集八月号
琵琶特集

日本琵琶楽協会設立20年記念 厳粛な式典で功労者を表彰す

昭和三十四年東京琵琶界の名匠辻岡剛師が、日本音楽学会々長田辺尚雄先生の進言により、文化国家日本の将来と伝統芸能のため、琵琶楽協会設立の急務を痛感して在京各流派の宗家や大幹部に呼びかけ協議を重ねた結果結成されたのが日本琵琶楽協会である。

創立以来主唱者辻岡剛師は、田辺先生を会長に、自ら理事長となり協会の運営に当り、苦辛奮闘を重ねて今日副会長の要職で榮ある二十周年の記念式典を迎え得た。記念式典当日の六月十六日は快晴に恵まれ会場の東京証券会館には午前十時少し前から協会首脳役員、記念名流演奏会出演者、表彰功労者、地方よりの会員等が早くも詰めかけた。定時近くには来賓名士の姿も見えた。式典舞台上には来賓の文化庁長官、日本放送協会々長、東京新聞社々長、協会々長吉川英史、協会副会長金田一春彦文学博士、理事長藤巻旭鶴、司会遠藤鶴東理事。向って左側前面右より被表彰功労者の副会長辻岡

昭和五十四年八月一日発行

非売品

編集発行者 鈴木普士

東京都練馬区豊玉北五ノ一

電話(九九一)〇三三三番

芸の友社

電話(九九一)〇三三三番

電話(九九一)〇三三三番

電話(九九一)〇三三三番

悼演奏会は、お盆行事で七月十五日午後一時より愛宕山菜根で行う。出演は堀越、若林、柏木、岩屋、清川、古家、佐藤、正本、本橋、輕部、八束、仲川、岡部、遠藤、池野谷、大富士、関口、吉田伊集院の諸氏で、諸英霊合祀祭壇に礼拝して謹奏され願った。

琵琶協会の総会

日本琵琶楽協会は七月八日午後一時より豊島区高松町の高三会館にて臨時総会を開き、(1)上期決算報告、事業報告、(2)参事役員候補に就て、(3)理事の委嘱について(関西支部関係)、(4)コンクール(第十六回)の実施について、(5)その他を議題として協議し、午後五時終了後懇親会を開き歓談を重ねて散会した。詳報次号。

近藤錦秋師逝去

錦心流薩摩琵琶師水会山梨県支部の幹事長兼相談役の近藤錦秋師は、数年来病気で倒れ自宅で療養中であつたが治療叶わず五月十九日遂に長逝されたとは惜しい。行年七十八歳。師は郵便局長奉職の傍ら精神修養のため琵琶を愛好された紳士で、博愛温厚甲府屈指の名士で、敬神家であり礼節情義の方で良く来訪者のお世話をされた高徳の方であつた。葬儀は仏式により執行された。茲に謹んで御冥福を祈念す。

感謝状

鈴木普士先生

先生には本協会設立に関し絶大なご支援を賜わったのみならず今日に至るまで引続き琵琶道の興隆に在つて会の発展と琵琶の今日あるは洵に先生のご指導をいただきました日本琵琶楽協会の設立二十周年を迎えるにあたり記念品を贈呈して深く感謝の意を表します。

日本琵琶楽協会
会長 吉川英史

琵琶協会設立20年 記念表彰の栄誉者

◎表彰状(順不同)
設立以来の会員。(A)中谷襄水、原島旭雄、前田洲月、池野谷吟岫、桑名洲聖、関口竜城、大富士岳辭、平井洲誠、竹下翠風、輕部岳瑞、仲川秀邦、石田脩水、石坂鶴朋、押田旭翁、齊藤旭章、鈴木流泉、友吉鶴心、広瀬圭穂、古家絃風、佐藤栄水、藤巻旭鶴、峯旭孝、山崎旭孝、山田旭芳、笹川旭風、鶴岡史、荒川洲帆、内山鶴崇、小原旭成、鈴木鶴謙、田中旭公、弘沢雨水、三浦運水、箕村桜州、赤心流鶴翁、八束一峰、若林旭洋。(代表受賞、山崎旭孝)

暑中御見舞
八月盛夏

芸の友社
鈴木普士
電話(991)〇三三三番

精密部品加工業(腕時計部品)

ネクタイ整形具(タイフレンド)製造販売

平井精密工業 有限会社

本社 所沢市日吉町17-13 電話 0429 (22) 3175
工場 所沢市荒幡 218 電話 0429 (22) 3660

社長 平井 円吉(洲誠)

筑前 琵琶製作
三田村 琵琶糸
東京都渋谷区神山町八番地二番
NHK放送センター1西口前
三田村楽器店
電話 渋谷六八二二番

最古の伝統と最高の技術

薩摩琵琶 専門製作

附属品一式

創業明治十一年
石田琵琶店
東京都港区虎ノ門三ノ八ノ四
電話(三三六)六五四八番
(地下鉄虎ノ門バス停ノ門二丁目下車)

調愛吟集 各定価1,500円
送料 200円

筑前琵琶 製品

各種附属品

桑田芝山

東京都大田区萩中3丁目24番地 〒144
電話 03 (743) 0068 番
(夜間) 03 (741) 2697 番

暑中御見舞

笹川鎮江 (旭風)

〒112 東京都文京区千石二丁目三ノ二
電話 〇三三〇〇七三二番

鶴田錦史

〒136 東京都江東区亀戸三ノ九ノ一九
電話 〇三三〇〇二五三番

日米加吟詠連盟
日本国風流詩吟

宗家 雨宮国風

〒231 横浜市中区弥生町三ノ三
電話 〇四五〇三三三八・三三九九番

筑前琵琶
宗家
橘旭翁

〒102 東京都千代田区三番町三ノ二
電話〇三〇四 一三八七番

筑前琵琶
日本旭会長
斎藤旭章

〒102 東京都千代田区三番町三ノ二
電話〇三〇四 三三八二六番

舞見御中 暑

筑前琵琶旭会大師範

河野旭保

〒802 北九州市小倉北区馬借一ノ一四ノ五
電話〇五三(52) 八三四〇番

栴本旭風

〒537 大阪市東成区神路町三丁目八ノ六
電話〇六 〇七二九八〇 二二七七八番

高千穂旭楓

〒544 大阪生野区小路二ノ二六ノ二五
電話〇六 〇四〇〇 三二二五番

筑前琵琶
柴田旭堂
宝塚専科
上原まり

〒651 神戸市葺合区上筒井通五ノ四ノ二
電話〇六(21) 一一六一番

筑前琵琶日本旭会

中村旭園

〒810 福岡市中央区今川二ノ七ノ六二
電話〇五〇〇 〇〇一七 〇七〇三七八番

筑前琵琶日本旭会師範
大阪旭会・東大阪旭会
神戸旭会
旭山会
会長
木庭旭山

〒557 大阪西成区千本北二ノ三ノ三三
電話〇六 〇四七九二二番

筑前琵琶

横浜旭会
横浜雅会

会長
小原旭成

〒241 横浜市旭区本宿町一〇六
電話〇四二(21) 一八九三番

幹事長
板倉旭富

〒231 横浜市中区本牧大里町一一四
電話〇四二(21) 〇四三三(22) 六六六

現琵琶界の重宝

日本琵琶楽協会
名誉会長 田辺尚雄翁
副会長 辻靖剛翁
顧問 鈴木誉士翁

日本琵琶楽協会設立二十周年記念式典挙行に当り、創立以来の功労者五十八名を選び、感謝状贈呈



と表彰状授与され記念品を贈った。感謝状は名誉会長田辺尚雄先生で当年九十七歳。日本音楽学会々長を勤められた斯界最高権威者。副会長辻靖剛翁は、東京琵琶界の元老で当年八十七歳。琵琶一筋で勲四等受章の光栄者である。顧問鈴木誉士翁は、大正五年渡

鮮し新聞記者として芸能界に関与し以来六十余年。現在機関紙芸の社長。当年九十歳である。

石田琵琶店へ
協会から感謝状
事業に協力の功



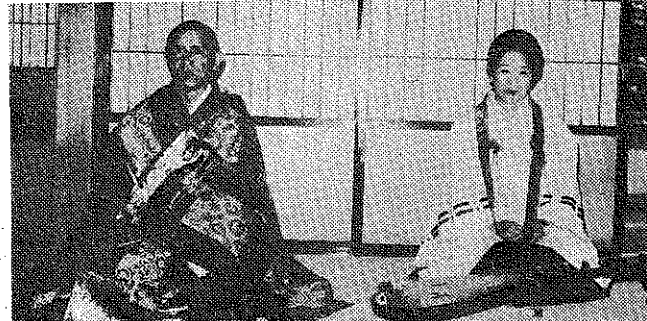
(石田不識氏)

石田琵琶店は明治十一年初代不識(本名義雄)氏が神戸錦町で創業され、大正二年死亡。二代不識(本名元治)氏が継承したが大正八年病気で他界。三代店主石田昇氏の昭和六年に現住所に転居し三代目不識を名乗った。昭和四十五年死亡。四代目不識氏は三代目の病中から入店の昭和四十年から日同氏に依り店舗も新築盛業中で日本一の老舗である。

比叡山延暦寺で
中村旭園師奉奏
栄光の名人芸

筑前琵琶福岡旭会長の中村旭園師といえは、当代屈指の大家で、

歌米諸国へも教度出演され名声海外にまで轟いている。女師は去月京都比叡山延暦寺根本中堂で挙行された開祖伝教大師千二百年遠忌に同寺を訪れ、眞主に拝謁し同法主と共に本堂に入りシユミ段に



協会理事の
名匠 八束一峰氏

日本琵琶楽協会理事として今回表彰された八束一峰氏は、錦心流琵琶を喜多村一城師に学び、三越百貨店に奉職二十五年に及び、昭和十九年係長を辭して退職された。模範店員で謹厳重厚礼節の士。四国松山出身の士族で、生一本の

昇り「和讃」を作曲して謹奏させ頂いたとは光栄至極であった。(写真は当日の記念で、(上)は眞主と中村師、(下)は衆僧と参拝者。



中村師渡米演奏

芸豪中村旭園師は、筑前琵琶九州連合大会(小倉)と長崎旭会にも出演し、韓国視察と多忙の日を送っているが、六月十七日からアメリカで開催のライオンズ国際大会へ出席のため渡米された由で、目覚しい活躍ぶりである。尚八月十二日の「荒津まつり」と十月十日開催予定の中村旭園主催「筑前琵琶楽しまませう」のため準備や稽古で懸命であると。

作家火野葦平氏と
琵琶師嶺旭蝶師



(嶺旭蝶師)

に終る人もある。人は一代、名は未代だ、美名を後世に輝かす様に心がけるように。「麦と兵隊」の作家火野葦平氏(故人)が、現在博多春吉の旅館(幸村)の女将で筑前琵琶の名人嶺旭蝶師と生前ご昵懇で、親密な交際があり、幸村の二階座敷で滞留し原稿を書かれたとか、一本筋の通った魂だ。

舞見御中

空城流吟舞
詩吟斗南会

村上空城

〒010 秋田市金照寺山公園七ノ森
空城流吟舞会館
電話(〇八六)三三九七

吟詠菊水流宗家

菅根悠光

吟舞菊水流宗家

永田咏滉

〒125 東京都葛飾区青戸六ノ三七ノ二
電話(〇三〇三)〇七五番

琵琶芸術協会
四絃富士会
錦心流琵琶秋声会

前田秋聲

本部41 東京都品川区西五反田四ノ八ノ三
電話(〇三〇三)八三三二番
支部 京都・名古屋・湘南・東北

大和流琵琶吟宗家

山崎光掾

筑前琵琶橋会宗範

山崎旭萃

〒569 大阪府高槻市宮田町一ノ六ノ五
電話(〇七六)三二五九番

筑前琵琶

日本橋会

家元 橋 旭 宗

〒152 東京都目黒区目黒一ノ三ノ三二
〒444 岡崎市城北町一七ノ一
事務局 電話(〇五五)四四七番

筑前琵琶橋会

大坪旭邦

ロスマンゼルス
電話(〇三三)四六四五番

全国朗吟文化協会関東副部長
テイチクレコード専属
群馬琵琶連盟会長
日本錦古流本部会長

宗家 針谷錦古

〒370-12 高崎市岩鼻町局前二四七
電話(〇三三)二〇〇六番

日本琵琶振興会長

鈴木流泉

〒343 越谷市大成町一ノ三三九二(自宅)
電話(〇四九)二二四一番(代表)
〒111 東京都台東区駒形一ノ五ノ五(研究室)
スズセイビル六階・電話(〇四三)三三三(代)

錦心流輝派
輝水会本部

会主 輝 錦凌

外会員一同

〒113 東京都文京区本郷五丁目二ノ三
電話(〇三〇三)七五七四番

詩吟朗詠錦城会々々長
錦城流宗家

山元錦城

筑前琵琶旭錦会々々長

山元旭錦

〒166 東京都杉並区成田西一ノ六ノ三
電話(〇三三)六二二二番

筑前琵琶嶺派

嶺 旭 蝶

青山旭子

〒810 福岡市中央区春吉二ノ八ノ二
電話(〇九二)〇三三二〇番

錦心流琵琶三浦蓮水後援会

会長 加藤弥三二

事務所 西宮市松原町九ノ八
電話(西宮)三二二二番

蓮水会 会長 三浦蓮水

〒662 西宮市羽衣町七ノ三四
電話(七六)五八八七番

会員一同

錦鳳流琵琶
朱鳳流吟詠

宗家 入谷錦鳳

〒414 伊東市川奈光ガ丘一三三八
電話(〇五五)一七四九番

吟詠 赤心流

家元 赤心流鶴翁

〒420 静岡市西草深町二ノ二〇
電話(〇五二)一四七一番

論よりも研・理よりも練
技よりも心・術よりも魂 (自訓)

伊集院牙城

〒370-06 群馬県邑楽町新中野八四ノ三
電話(〇三六)一一〇〇番

筑前琵琶

東京橋会

事務局 166 東京都杉並区成田西一ノ六ノ三
電話(〇三三)六二二二番

筑前琵琶橋会師範
詩吟朗詠錦城流宗範

夏秋旭芳

夏秋錦穂

〒857 佐世保市谷郷町四ノ一
電話(〇五三)一一三三四番

筑前琵琶日本旭会理事

田中旭昇

〒653 神戸市長田区梅ヶ香一ノ五ノ四
電話(〇七八)〇〇一八番

浜本旭好

〒678 相生市相生二ノ一四ノ一七
電話(〇七三)五一八八番

舞見御中

(社)芸協協摩琵琶連合会副会長
 日本琵琶楽協会副会長
 薩摩琵琶正統会運営委員長
 薩摩琵琶古曲研究会々々長
辻 靖剛 (東舟)
 事務所 東京都港区西新橋一ノ二ノ七
 電話 〇三三(三七)九三九
 105 事務所 東京都港区西新橋一ノ二ノ七
 電話 〇三三(三七)九三九
 185 自宅 東京都港区西新橋一ノ二ノ七
 ノ三三電話 〇三三(三七)九三九

日本琵琶楽協会
 会長 吉川英史
 副会長 金田一春彦
 副会長 辻靖剛
 理事長 藤巻旭鴻
 事務所 105 東京都港区西新橋一ノ二ノ七
 電話 〇三三(三七)九三九

薩摩 **古曲研究会**
 会長 辻靖剛
 副会長 須田誠舟
 事務所 105 東京都港区西新橋一ノ二ノ七
 電話 〇三三(三七)九三九

四絃琵琶音曲会
 望月 啞江
 272 市川市東菅野四ノ八ノ二一
 電話 〇三三(三八)六三六(三七)一六九六

錦心流名古屋秋声会
 阿部 秋子
 454 名古屋市中川区中島新町中川住宅
 五ノ四一電話 〇五三(〇)二八四番

薩摩 **正絃会**
 会長 西郷吉之助
 副会長 樺山資清
 事務所 105 東京都港区西新橋一ノ二ノ七
 電話 〇三三(三七)九三九

筑前琵琶日本旭会
 押田 旭窈
 160 東京都新宿区三米町一六
 電話 〇四五(五九)一三(三七)六五三番

日本橋会大師範
 大和流琵琶宗範
 板谷 旭邑
 730 広島市橋本町一〇ノ一五
 電話 (二一)七五二二番

筑前琵琶紅会
 160 東京都新宿区三米町十六(押田方)
 電話 〇四五(五九)一三(三七)六五三番

筑前琵琶橋会
 大師範 堀田 旭甲
 (天風翁甲堂)
 天風甲心流詩吟道甲心会本部
 444 岡崎市城北町一七ノ一
 電話 〇五三(二一)四四五七番

筑前琵琶橋会
 大師範 角田 旭岑
 152 東京都目黒区目黒本町一ノ六ノ三
 電話 〇三(七九)二二三四番

筑前琵琶日本旭会
 秋元 旭辰
 竹本 旭将
 618 大阪府三島郡島本町桜井四ノ六ノ
 〇電話 〇七五(四一)五〇四三番

橋会最高幹部会議
 筑前琵琶日本橋会の最高幹部会議は、六月二十日名古屋ライオンズホテルで開き、山崎旭幸宗範、板谷旭邑、山元旭錦両専務理事、堀田事務局長出席(家元は外国へ出張中)。今秋大阪で開催する全国大会の件につき協議を重ねた。全国大会も本年からは面目を一新して舞踊や他楽器も取り入れ、出演者数も増加し大番組となると。
輝水会物故者の追善供養演奏会
 輝水会本部の輝立枝女史は、お盆を目前にして先年来他界された同会の功勞大家甲府の窪田錦晃、大阪の高島樟水、東京の山田半水、利田錦葉、本年五月逝去の甲府の近藤錦秋の物故諸師の冥福追祈のため六月二十四日一時より文京区本郷向ヶ丘浄心寺で奉経後追善琵琶供養を執行、吉川錦葉理事長の挨拶について山田、窪田、利田三氏のテープ録音があり、更に丸田、磯崎、錦正、錦耕、錦舟、錦貴、錦統、穂風、錦穂、輝錦凌諸氏の慰靈奏あり供養された。当日の参加者五十余名で賑った。

とし子の一族と、洲楓会員の前田月、桑名洲聖、荒州洲帆、平井洲誠、松崎洲陵、同夫人、稲垣洲玲、山田洲鳳、弘沢洲雨、彼ノ矢洲友、中村洲心、金尾洲文、真泉洲佳、平野洲葉、内田洲蓉、佐野洲登、渡辺国子、前島あさ子、中村すみ江の諸氏が高円寺駅近くの菩提寺である長仙寺に集合し、一同墓参をし先生の墓に香華を手向け、み堂で先生が生前の録音「接待」を拝聴し、大館美江子会長のご供養の饗応を受けながら在りし日の思い出話に花咲かせ、會員有志の慰靈演奏も行われて和やかに御冥福を追祈された。

洲楓会員一同が故師の墓参供養
 近世琵琶界の名人と称えられた錦心流大館派の宗家大館洲楓先生が逝いて満四年の祥月命日に当たる六月十七日十一時に遺族の大館美江子女史を始め大館葦、愛子、香織、

神戶旭会の物故者追悼演奏会
 神戸旭会では田中旭昇幹事長の発起で、會員として共に斯道の発展に尽された功勞者や特殊者で戦後他界された二十名の物故者の霊を追悼し冥福追祈のため追悼琵琶演奏会を七月一日午後一時より生田公会堂に於て開催された。当日は眞先に物故諸先輩に対し感謝と御冥福を祈つて黙禱を捧げ、田中幹事長の開会挨拶あつて演奏開始。合奏、独奏四曲のあと松岡旭岡のご挨拶。更に木庭、宮垣、富樫、伊藤、田中、浜本、柴田、松岡諸名流の演奏が続ぎ、熊勢旭陽氏閉会を宣言し十七時過ぎ終了。
 物故者中の名星は柴田旭栄、松岡旭文、佐藤旭登、富士原旭耀の諸氏が挙げられる。

日本旭会名誉会長
 松岡 旭
 伊藤 旭
 520 大阪市豊坂一ノ二ノ三十一
 電話 〇七五(二四)九三二八番

筑前琵琶橋会
 法蓮院 千住 旭 湊
 857 佐世保市柴町五ノ二六
 電話 〇九三(二三)一〇一〇番

奥田 医院 興
 奥田 田
 113 東京都文京区湯島三ノ八ノ二
 電話 〇三三(〇八)八三七一番

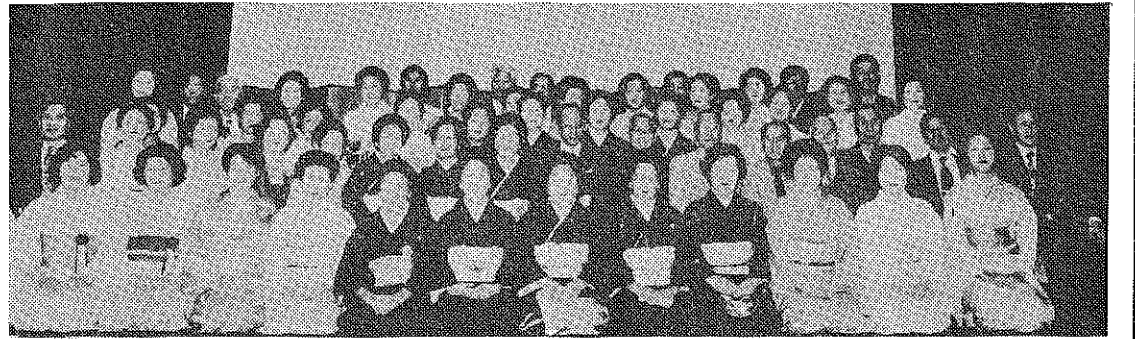
都派琵琶 秋の公演
 十月十六日(火)
 第一証券ホール
 外 錦穂会一同
 113 東京都文京区根津二ノ二五ノ二
 電話 〇三三(七二)五〇八番

筑前琵琶旭鴻会本部
 会長 藤巻 旭鴻
 〒171 東京都豊島区高松三ノ一二
 電話 〇三三(四一)三六四五番

藤巻 旭星	古川 旭冷
藤巻 旭陽	古川 旭神
藤巻 旭彰	柴田 旭容
藤巻 旭鵬	東野 旭枝
藤巻 旭鶴	清野 旭茜
藤巻 旭祐	井上 旭照
藤巻 真一	大西 旭恵
藤巻 典子	大西 旭好
藤巻 加奈子	野口 旭游
藤巻 加奈子	三條 旭秀
南崎 旭薫	横山 旭季
黒田 旭映	中村 旭犀
林田 旭史	渡辺 旭義
内田 旭史	渡辺 旭義
早田 旭苑	渡辺 旭義
石山 旭苑	山口 敦子
桑田 旭丈	山口 敦子

藤巻旭鴻後援会
 会長 青柳 重道
 173 東京都板橋区大山西町二四ノ一
 電話 〇三三(四一)六二五四番

筑前琵琶旭会九州連合会第20回演奏大会記念



(写真説明) 筑前琵琶旭会系九州連合会は、戦後の斯界不振の期に復興促進のため設立されたもので今年で二十年を迎えた。その記念演奏大会が小倉旭会が司会となり五月十九、二十日の両日正午より小倉の井筒屋文化ホールで開催され、両日共快晴の天候に恵まれ超満員の盛況で大好評を博し成功を収めた。写真は当日の記念で(前列)向う右二人目より藤間千公志、筑波寿榮、富樫旭桂、中村旭園、末広旭馨、小川旭華、西川旭煥、船津豊月、林みち子、小崎旭邑、福崎旭桃(二列目)喜田旭松、西本旭泉、岡崎旭彦、針宮旭煥、西生旭泉、黒田旭峯、岩橋旭秀、宗家橋旭翁、河野旭保、高橋旭春、西村旭鶴、富重旭富、竹原旭扇、高原旭鈴、加来旭翠(三列目と四列目は会員一同である。

筑前九州連合演奏大会は 両日共超満員の盛況で絶讃

筑前琵琶日本旭会の九州連合会は、戦後の琵琶界衰退期に会員、奮起協力して復興促進を志し、九州斯界の先導有志の唱道で結成されたのが九州連合会である。同会には小倉、門司、八幡、戸畑、大分、福岡、筑紫、筑前、長崎、熊本、肥後、鹿児島、全九州地区十三旭会に、宇都、福岡両地区にある防長、備後両旭会を加えた十五旭会によって結集創立され、今年で二十周年を迎えた。 今回の司会には小倉旭会、大師範河野旭保会長が司会長となり、司会副会長前川旭城、執行委員長黒川旭峯、相談役齊藤旭章の各師役を始め庶務、会計、接待の各分担任を定め協力一致の体制で準備を進め、五月十九、二十の両日小倉井筒屋文化ホールで正午開演。通常琵琶曲の外に茶道、華道、舞踊、箏、箏を加味した曲を一日十七曲宛を上演し古典芸術の粋を發揮し、伝統芸能の真価を示された。 このため同会の小倉旭会では前日旅館にてリハーサルを行い、会場は十二時一分前より国歌君が代をテープ録音で流し司会の言葉があつて幕が上がり、河野大師範、樋口、中村、末広、佐々木、小川、西川各師範の絃、竹原旭扇の唄で序曲の四世宗家橋旭翁師指導の新琵琶

楽(春の調べ)と(汐風乙女)が芽えた雅音につれて美しい声の爽やかに響き渡ると場内沸き立って声なく終ると万雷の拍手湧く。この頃には早くも聴衆場を埋め尽くす好調さで司会側の運動努力の甲斐が表明された。番組順位に従って次々に展開される華やかな舞台や巧ましい演技で満場ファンの拍手や賞讃を浴び、四時三十分第一日は羨なく終了を告げた。 第二日も晴天に恵まれて聴衆は午前十時頃より姿を見せ、定時の正午時には殆んど空席なき大入りである。前日同様の君が代の録音吹奏から師範名流の絃、竹原旭扇唄の序曲新琵琶(春の調べ)と(汐風乙女)は前日と同じである。以下プログラム順序通り演奏は進められたが舞台交際の節に前田旭城副会長と河野旭保会長の両師が御札の御挨拶を述べられた事と祝電をご披露されたことが前日と異った点である。 祝電の中には政界大物中曾根康弘、田中六助内閣官房長官、その他名士で数十通。祝電寄進多数で司会者の人気と信用度を表示され実に立派な大会であった。 河野会長邸宅は大 会中遠来客で購う 北九州市小倉旭会の河野旭保会

長さんの邸宅は、小倉でも屈指の安邸と仄聞しているが、去る五月の筑前琵琶九州連合演奏会が小倉井筒屋別館文化ホールで催された十九、二十日を中心とした十七日から二十五日までの間は、東京の宗家橋旭翁先生、阪神の名流巨星の来客数名が滞在され、大会参加諸星の来訪もあり接待に多忙を極めて疲労された。 御礼御挨拶 拝啓 初夏の候御尊堂様には益益御健勝の段お慶び申し上げます。此度筑前琵琶九州連合演奏会に際しましては格別なる御厚情を賜り厚く御礼申し上げます。お蔭様にて二日間快晴に恵まれ満場立錫の余地なき大盛況に加え熱狂裡に無事終了致しました事は誠に感激でございます。是れひとへに皆々様の御支援の賜と深く感謝致します。尚この上にも変わらぬ御支援御鞭撻の程お願い申し上げます。 敬具 昭和五十四年五月 筑前琵琶九州連合会 副会長 黒田旭峯 会長 河野旭保 会員一同

三越劇場を満員 大人気の「紅会」

東京琵琶界の女王と称えられる淑徳の高い筑前派日本旭会の大師範押田旭翁師を主柱として結成された「紅会」は、東京旭会の女流で人気の多い秀技の六名が同意し発足されたのが十九年前である。新宿伊勢丹で旗揚げしてより東京斯界の名物となり素晴らしい人気を呼び、毎年一回の大会は待望の的である。54年度の会は七月四日正午より日本橋三越劇場で開催、大会場満員の盛況で飾り、会員並に協賛名流諸氏の熱烈な競技でファンを魅了し好評を博した。詳報は次号で。

尾山女史の近況

関西琵琶界女流の名匠と定評高い大阪府住吉区帝塚山の尾山旭瑞帯女史は、五月六日高島屋ホールで催された関西琵琶名流会へ出演し



(尾山旭瑞帯師)

て妙技を揮い、また六月十七日には堺市の大鳥神社の菖蒲祭に招かれ、美しい菖蒲園の中で奉納奏を行って大衆の絶讃を博された由で芸能家の面目躍如として益々健康の幸福日とは喜ばしい。

暑 中 御 見 舞

鶴派 鶴翔会

- 136 東京都江東区亀戸三ノ丸九ノ丸 電話 03-6433-22番 (鶴田錦史方)
友吉 鶴心 111 東京都台東区浅草一ノ二ノ六 電話 03-442-2511番
石坂 鶴朋 334 川口市安行原一五三六ノ三 電話 (048) 332-8111番
内山 鶴崇 062 札幌市豊平区中の島一条ノ四 電話 011-847-7400番
立川 鶴祥 371 前橋市文京町三ノ六ノ一 電話 (028) 21-9043番
半田 鶴炎 354 埼玉県富士見市上沢三ノ八ノ七 電話 (028) 51-2709番
田中 鶴旺 175 東京都板橋区成増五ノ二ノ六 電話 03-990-7762番
馬場 鶴洲 144 東京都大田区下丸子二ノ七ノ三 電話 (03) 501-1550番
三宅 鶴山 922-01 石川県山中町上原甲九五 電話 (076) 223-3950番

国風流詩吟部 輝水会北米支部

- 支部長 福手 錦稜 外会 員一同 羅府サマーセット通三八〇七
日本錦古流藤城会本部 ティチクレコード専属 全国朗吟文化協会常任理事
会長 四方田 錦隆 375 群馬県藤岡市古桜町三三六 電話 (0273) 2377番
高田 栄水 176 東京都練馬区豊玉北四ノ二 電話 03-990-7208番
錦 琵琶 錦 秀木 原綾子 他 門下一同 274 船橋市高根台四ノ一五ノ四 電話 (0476) 7940番

琵琶吟詠 雅翔曲

- 井上 雅翔 152 東京都目黒区原町二ノ二ノ一三 電話 (03) 473-3333番
村木 桜柳 190 立川市高松町二ノ二ノ一三 電話 (0426) 2452番
錦 琵琶 薩摩琵琶 錦心流 226 横浜市緑区大鶴町三三ノ五 電話 (045) 677-88番
錦心流琵琶 詩吟教室 一水会 藤沢支部 顧問 錦賜会 秋山 錦賜 (嶋水) 251 藤沢市鶴沼桜方岡二ノ一ノ七 電話 (0463) 786-7番
石田 琵琶店 四世 石田 不識 105 東京都港区虎の門三ノ八ノ四 電話 (03) 654-848番

加藤 錦陽 181 三鷹市井の頭三ノ一九ノ六 電話 (03) 549-7965番
三鷹市芸術文化協会 三鷹市邦楽愛好会 三鷹市日本舞踊同好会 日本伝統芸能同好会 編成部長

舞 見 御 中 暑

<p>錦心流琵琶 145 東京都大田区南千束三ノ七〇番 電話(三〇七)七〇七〇番</p> <p>松田静水</p>	<p>錦心流琵琶教授 232 横浜市南区井土ヶ谷中町六二 電話(三〇三)六七七七番</p> <p>中谷襄水</p>	<p>薩摩琵琶 124 東京都葛飾区立石一ノ一九ノ四 電話(三〇三)五七三三九番</p> <p>古家絃風</p>	<p>薩摩琵琶雲雀会・正絃会 260 千葉市登戸四ノ九ノ二 電話(三〇三)一九〇二番</p> <p>遠藤鶴東</p>	<p>薩摩琵琶製作(日本絃研) 日本琵琶協会の各々 正絃会 125 東京都葛飾区鎌倉町四ノ三九 電話(三〇三)一九四七番</p> <p>柏木篁道</p>
<p>事務所 156 東京都世田谷区八幡山 電話(三三三)三五五〇番</p> <p>琵琶洲楓会本部</p> <p>会長 大館美江子</p> <p>理事長 桑名洲聖</p> <p>副理事長 荒川洲帆</p> <p>常任理事 前田洲月</p> <p>同 平井洲誠</p> <p>同 松崎洲陵</p> <p>同 稲垣洲玲</p> <p>同 山田洲鳳</p> <p>同 彼ノ矢洲友</p> <p>同 中村洲心</p>	<p>錦心流琵琶 153 東京都目黒区上目黒三ノ二ノ五 電話(四一〇)六〇六番</p> <p>秋山溪水</p>	<p>錦心流琵琶桑水会 238 横須賀市公郷町二ノ一〇 電話(〇四六)五二二六四番</p> <p>会長 石井桑水</p>	<p>横須賀琵琶連盟 237 横須賀市船越町一ノ五〇 電話(〇四六)三三六七六番</p> <p>会長 山田幻水</p>	<p>薩摩琵琶四明会 京都琵琶協会 日本琵琶協会の各々 603 京都市北区平野宮西町六四 電話(〇七五)一四二二三番</p> <p>平井春嶺</p>
<p>所在地 112 東京都文京区大塚三ノ六 電話(三三三)四四六二番</p> <p>錦心流琵琶 一水会本部</p>	<p>日本祥風流詩吟会本部 154 東京都世田谷区世田谷二ノ二〇 電話(三三三)四四六二番</p> <p>佐藤清水</p>	<p>247 鎌倉市大船一ノ二四ノ一四 電話(〇四六)二六六〇番</p> <p>斎藤祥風</p>	<p>横須賀 四絃富士会 事務所 238 横須賀市富士見町一ノ五一 電話(〇四六)二二二二番</p> <p>同 会 員 一 同</p>	<p>薩摩琵琶城山人 日本琵琶協会の各々 367 埼玉県本庄市前原二ノ三ノ五 電話(〇四九)四九〇〇番</p> <p>根本岳邦</p>

東京音楽芸術祭 鶴田師の神秘芸に 満員の聴衆酔う

素晴らしい祝花の山

東京音楽芸術祭振興会主催の第二回音楽祭が、五、六月にかけ六日間イノホールで毎夜七時開演で行われ入場料三千円。琵琶楽は五月三十一日、鶴田師の名人の独演会、演奏は三曲で約一時間。五百余人収容の会場は超満員の大人気で祝花の生花三十余基と美しい花の祝を現出し関係者を驚かせた。上演曲の序曲は「旅」で、三面の琵琶を使う絃奏で高雅幽雅の音色と撥さばきの至妙さは魅された。二曲目は「敦盛」で「祇園精舎の鐘の音、諸行無常の響きあり」の歌い出しから終りまで、セキ一つない静寂で傾聴し、全くの神秘芸と言えらるであろう。少くも三曲目の曲は武満徹先生作曲「エクリプス」で尺八の名人横山勝也師と鶴田師の琵琶合奏である。この曲は去る四十一年日比谷の日生劇場で初公演された武満師が創作された名曲で、以来十数年となり、これまで公開されたことがあり、これも無声曲である両師の呼吸がピッタリ合った真に神秘的な魅力にファンは夢心地であった。終つてから拍手止まず両師共舞台上に再度姿を見せて感謝された程で、他会では見られぬ風景であった。

協会創立20周年記念 琵琶名流会を聴く

日本琵琶協会の設立二十周年記念式典が、六月十六日十一時より東京中央区茅場町の東京証券会館ホールで、文化庁、放送協会、新聞社等の来賓を迎えて厳かに挙行され、正午より記念の名流琵琶演奏大会が夕六時過ぎまで行われた。今回の出演者は高槻市の名人山崎旭峯師、神戸の柴田旭堂師、大阪の木庭旭山師、名古屋の新鋭水野旭麗さんの四特選と、東京でもコンクール未出場の新人が九人も選出され、大物から一般陣営のものまで、二曲目の名古屋水野旭麗さんの(粟津ヶ原)から聞く。落着きあり歌の運びも良く前奏有望であるが、弾き手が若く惜しい。公開の席では師匠に助力を頼むのが得策であろう。金尾洲丈(俊寛)は力量を示す熱演ぶりであった。本橋油舟(彰義隊)新人ながら仲々の力量を發揮されファンの拍手を受けた。内田旭章(唐人お吉)公演は手馴れた人だけに曲の内容を生かして表現された上々。木原綾子(湖水渡)この曲は各会の公演毎に上演されてよく聞かぬが、今日の木原師の演奏ほど巧妙なのは嘗てない。全くの名人芸で魅せられた。音使いの微妙と呼吸の巧みに敬意を表す。田中勸水(曾我の里)珍らしい出し物であったが演奏は変化のない平凡さであった。大阪木庭旭山(玉藻の前)は関西で有数の大家だけに

変化に富んだ歌の運びは興味深い。惜しむらくは声が割れた点であるが、一部の殿りとして堂々たるものであった。少後後協会副会長で文学博士金田一春彦先生のご挨拶があり、中国音楽人の列を惹いて日本楽人の心境を述べ、激動された▲清川嵐舟(吉野落)進境ぶりは驚えるが熱が薄く感じ。藤波桜華(お市の方)久振りに聴いたが全魂を打ち込んだ演技で立派であった。原島旭絃(坂崎出羽守)東京旭会屈指の大家だけに堂々たる演奏ぶりであった。仲川秀邦(常陸丸)錆びた音で渋い芸風であるが、多年練磨の巧で隙がない。都錦徳(大高源吾)この人の得意曲だけに洗練されたもので、大高と宝井其角の問答が立派。神戸柴田旭堂(伽羅の兜)「今は徳川家康の其の術中に陥り入る家運の末を如何にせん」の思いやりの唄の口調と、「中より薫る名香の」運びに名人芸の貫録が聞かれた。遠藤鶴東(小敦盛)流石に薩摩の代表たる資格充分。高田栄水(景清)父を採り九州路へ下った人丸の哀愁の情が良く伺え涙を誘う。景清の物語りを聞けなかつたのが惜しい。藤巻旭鴻(小栗栖)旭会大師範の貫録である。このあと山下晴楓、大阪府高槻市の山崎旭峯名人の出演があるが、病氣静養中を押し参会したので疲れを感じ中途退席した失礼をお詫びする。(誉士)

当日会場は満員の盛況であった。

◆木原綾子師琵琶祭
錦琵琶当代日本一と定評高い名匠、千葉原船橋市在住の木原綾子

予 告
九月開く琵琶会
◆琵琶コンクール
日本琵琶協会の主催の54年度琵琶コンクールは、九月十六日午十一時より銀座七丁目ガストホールで開く。出場者の規定は昨年通りであるが、出演料金は今年は一曲金五万円に値上りした。

◆横浜旭会と雅会
筑前琵琶演芸会並に雅会創立五周年記念演奏大会は、九月十六日県民ホールで開催決定。県知事と名士の御挨拶、各新聞社の後援で出場者三十数名と賛助出演舞踊もある。小原旭成会長作詞作曲の「佐倉宗吾郎」も上演されると。

◆藤巻旭鴻師の会
日本琵琶協会の理事長で旭会大師範で、男子日本一の芸豪と定評高い東京藤巻旭鴻師主催の恒例琵琶演奏大会は、九月二十三日大手町豊協ホールで開く。決定せる協賛出演大家は、若水松松、原島旭、藤巻旭、半田淳子、水藤五郎、地方よりは明石の富樫旭、姫路の笠旭昇、尼ヶ崎の須田誠舟、大阪の木庭旭山、西宮の熊手旭宸の諸名星である。

師は、琵琶まつり公演を九月二十四日東京茅場町の東京証券会館ホールに於て琵琶楽協会、東京新聞社、芸の友社、木原綾子後援会の後援で開催されると。演奏は吟詠と琵琶で上演約五十題。賛助名流は輝錦統、友吉鶴心、原島旭、桑名洲聖、藤巻旭鴻、仲川秀邦、押田旭松、遠藤鶴東、中谷襄水、若水松松、杉山旗水、水藤五郎、藤波桜華、村木松柳の諸氏で、木原師一門の会員が出演される。

◆柴田旭堂師の会
関西筑前派の名人、神戸の柴田旭堂師は、九月二十四日同市文化会館にて旭堂演奏会を開くと。

住居移転御通知
私儀今般左記へ移転致しましたのでお知らせ申し上げます。
昭和54年6月
新住所 岡崎市城北町十七番
地ノ一
日本橋会事務局
堀田旭甲
天風甲心流吟詩道
甲心会総本部
天風翁甲堂
電話(五五)二一四四七番

舞 見 御 中 暑

<p>琵琶講談 教授と出演</p> <p>大野 皎月</p> <p>618 京都府乙訓郡大山崎町高橋 三ノノ六(史蹟大玉山夕々露) 電話(五三〇)一〇六七番</p>	<p>筑前琵琶日本橋会師範 彦根旭城会</p> <p>会長 林田 旭城</p> <p>252 彦根市中 中央六ノ一三 電話(五三三)〇三二六番</p>	<p>大阪旭会・東大阪旭会</p> <p>師範 尾山 旭瑞常</p> <p>558 大阪市住吉区帝塚山東ノノ一 電話(六〇七)〇八四八番</p>	<p>筑前琵琶日本旭会</p> <p>師範 富樫 旭桂</p> <p>678 明石市松ガ丘四丁目二ノ二四 電話(六八〇)八六三三番</p>	<p>筑前琵琶日本旭会</p> <p>詩絃道 煌風会</p> <p>横野 旭鳳</p> <p>553 大阪市福島区海老江四ノ一ノ二 笹岡気付 電話(例)二九七三番</p>
<p>筑前琵琶橋会</p> <p>押川 旭葉</p> <p>250-04 神奈川県足柄下郡箱根町強羅 三ノ〇 電話(五三〇)二二二二番</p>	<p>橋会師範 詩吟江楓流</p> <p>石河 旭豊穰</p> <p>464 名古屋市中千種区徳川山町一ノ 主ノ七 電話(五三〇)四七八〇九番</p>	<p>筑前琵琶橋会師範</p> <p>鳥取 旭良会</p> <p>北村 旭良</p> <p>680 鳥取市片原四丁目一〇二 電話(五三〇)八七二四番</p>	<p>筑前琵琶旭会師範</p> <p>大津 旭紅</p> <p>177 東京都練馬区下石神井四ノ九 ノ六 電話(五三〇)〇六六六番</p>	<p>筑前琵琶・詩吟・書道</p> <p>広瀬 圭穂</p> <p>187 東京都小平市仲町一ノ九〇 電話(五三〇)二四三三番</p>
<p>筑前琵琶橋会師範</p> <p>久徳 旭蘭</p> <p>651 神戸市東灘区八幡通四丁目一ノ七 電話(五三〇)一六一〇番</p>	<p>大和流琵琶吟楽</p> <p>師範 安藤 光鵬</p> <p>158 東京都世田谷区東玉川町二ノ 三ノ主 電話(四八二)一三二番</p>	<p>筑前琵琶橋会師範 詩吟朗詠錦城流大師範</p> <p>三栖 旭鋒</p> <p>243 厚木市栄町一ノ五ノ二 電話(五三三)二二二四番</p>	<p>筑前琵琶日本旭会</p> <p>安倍 旭静</p> <p>146 東京都大田区下丸子二ノ四ノ六 電話(五三〇)三三八一八番</p>	<p>筑前琵琶 詩吟高千穂流</p> <p>会長 東野 穂峰</p> <p>106 東京都港区元麻布一ノ五ノ一 電話(五三〇)七六六七番</p>
<p>筑前琵琶橋会</p> <p>川喜多 旭麗</p> <p>164 東京都中野区弥生町四ノ主ノ 七 電話(五三〇)三九二番</p>	<p>筑前琵琶橋会師範 詩吟朗詠錦城流大師範</p> <p>佐伯 旭瑛</p> <p>577 東大阪市後徳町一ノ二ノ八 電話(五三〇)一四八三番</p>	<p>筑前琵琶橋会</p> <p>松村 旭奎</p> <p>157 東京都世田谷区箱谷町三ノ三 ノ六 電話(五三〇)四八三三番</p>	<p>筑前琵琶橋会師範</p> <p>小川 旭典</p> <p>490-01 一宮市浅井町大日比野三ノ九 電話(五三〇)二八八〇番</p>	<p>事務所 171 東京都豊島区高松三ノ主 電話(五三〇)三六四五番</p> <p>東都 旭会</p>

板倉師譽れ演奏

今春一月日本赤十字本社より、
これの表彰を受けた横浜旭会幹事長
板倉旭富師は、七月五日国鉄横浜
駅前のスカイビルで催された日本



(板倉旭富師)



(小原旭成師)

赤十字社神奈川県支部の紺綬会に
招かれ、琵琶を所望されたので
小原旭成会長他数名の絃で「秋風
故郷山」を上演し妙節を揮って臨
席中の県知事始め多数名士より賞
讃されたとは喜ばしい。

奥田医学博士が 錦心流琵琶演奏

東京都文京区湯島の奥田内科医
院長の医学博士奥田興先生は、二
十数年前に趣味として錦心流琵琶
を習得し、美声で知られ人気を博
し、十年前に出羽の豪家本間家よ

り招かれて演奏されたが以来楽器
を手にする事も無かったのに、去
月一水会中央支部より総会の通知
を受け出席した処、旧絃友の強要
で一曲を所望され演奏されたとは
珍らしいことである。

阿部秋子師上京 紅会大会へ出演

名古屋琵琶の名星で秋声会々長
の阿部秋子女史は、東京の筑前派
紅会の大会へ招かれ出演のため七
月三日上京、前田秋声師宅へ投宿
し四日三越劇場で開催の紅会公演
へ出演「戻り橋」を弾奏し好評を
受けて帰名された。

暑中御見舞

筑前琵琶旭班会

師範 **原島 旭粧**

160 東京都新宿区西新宿ノ七ノ
三 電話(五三〇)五五六四番

東城流 詩吟 教授

緒方 晴舟

192-02 多摩市桜ヶ丘一ノ二三ノ四
電話(五三〇)三三(七四)一〇九八番

鹿兒島旭会
大蔵山 柿木 旭利

892 鹿兒島市新町四ノ二
電話(五三〇)二二二二番

筑前琵琶詩吟教授旭登会

師範 **若宮 旭登**

189 東村山市美住町一ノ四
久米川公園九ノ二〇四
電話(五三〇)九三二二番

栃木県琵琶協会の長
栃木県吟詠詩舞連盟顧問
平田 旭峰

320 宇都宮市峰町九〇
電話(五三〇)三三(四五)二二番

筑前琵琶橋会師範

山田 旭芳

153 東京都目黒区下目黒ノ一ノ一
電話(五三〇)四一(九六)九六番

筑前琵琶橋会 名譽師範代

前田 旭城

496 愛知県海部郡佐織町持中佐渡
電話(五三〇)三三(二五)〇三八八番

吟詠教授晴声会

会長 **中村 晴声**

432 浜松市鹿谷町三七ノ一〇
電話(五三〇)七六六〇番

筑前琵琶橋会
詩吟 静風流

師範 **佐野 旭晴**

657 神戸市灘区上河原通三ノ四ノ
云 電話(五三〇)八(五三)三九九番

筑前琵琶橋会

野田 旭条

125 東京都葛飾区高砂町三ノ七
ノ六 電話(五三〇)二八六〇番

旭邑 斎藤 雪子

239 横須賀市野比七〇七
電話(五三〇)六(四八)二七四番

筑前琵琶橋会

師範 **田子 旭園**

683 鳥取県米子市岩倉町六〇
電話(五三〇)九(三三)九〇五七番

薩摩琵琶

水野 旭麗

486 春日井市牛山町六二ノ一ノ六
電話(五三〇)六(三二)六五九三番

晴風会

伊藤 旭陽

466 名古屋市中区和区山崎町四ノ八
電話(五三〇)四三(四五)五七番

筑前琵琶橋会

旭一声会

485 小牧市北外山字竹林宮元ノ四
電話(五三〇)六(七三)九六四五番

会長 **西村 旭一声**

462 名古屋市中区中切町四ノ六
電話(五三〇)三三(三四)四四番

筑前琵琶橋会

石黒 旭佳

453 名古屋市中村区中村町三ノ三
電話(五三〇)四(四五)〇三番

筑前琵琶橋会

松村 旭奎

157 東京都世田谷区箱谷町三ノ三
ノ六 電話(五三〇)四八三三番

筑前琵琶橋会

京 植村 稟水

569 高槻市津之江北町一ノ一ノ三
電話(五三〇)七(七三)六〇五一番

一水会本部顧問
小池 幸水
143 東京都大田区中央一ノ七ノ六
電話(四)八七一四番

一水会本部顧問
荻野 甲水
173 東京都板橋区板橋町二ノ一ノ四
電話(四)八五九四番

暑中御見舞

高橋 蘇水
040 函館市青柳町二六ノ一四
電話(二六)一六二三番

池野谷 吟岫
111 東京都台東区元浅草一ノ三ノ七
電話(四)四三一四番

佐藤 晃絃
790 松山市立花三ノ五ノ六
電話(四)三八八七番

一水会平塚支部長
梅沢 伺水
254 平塚市宝町十二ノ三三
電話(三)三〇一六番

一水会本部顧問
佐藤 采水
133 東京都江戸川区東小岩五ノ九
電話(四)四七九八番

一水会本部顧問
畑 関水
951 新潟市古町通七番町
電話(二二)二二八五番

田中 篁水
920 金沢市天神町二ノ六ノ一二
電話(〇三)五三三八番

宇川 久信
145 東京都大田区北千束三ノ六
電話(四)二八八一番

岡部 錦蝶
359 所沢市中新井二ノ二八ノ一
電話(〇三)〇九二八番

錦心流琵琶
小川 吟水
570 守口市緑町一七土居団地二
電話(三)五六一五番

一水会城東支部支部長
松本 諸水
120 東京都足立区青井三ノ二
電話(八四)三八九二番

一水会神奈川県連合会
寺山 注水
242 大和市福田四九六四ノ三八
電話(〇三)七一八〇番

菅野 有水
989-24 宮城県岩沼市早波字前川
電話(〇三)三三三二番

薩摩琵琶
仲川 秀邦
164 東京都中野区中央一ノ三二
電話(〇三)七四〇番

薩摩琵琶正絃会
八束 一峰
165 東京都中野区大和町三ノ七
電話(〇三)五七三二番

錦心流琵琶
伊藤 磐水
184 東京都小金井市本町一ノ八ノ五
電話(三)三三四四番

一水会札幌支部
二反田 岳水
065 札幌市東区東苗穂町三ノ五
電話(〇二)三三三三番

静水門下 脩水会々々員
神戸 栄次郎
250 小田原市南町二ノ一ノ二
電話(〇三)二五五四番

正派薩摩琵琶
正調詩吟指導
錦山 斎藤 桜嵐
260 千葉市緑町一ノ二七ノ一三
電話(〇三)三七八四番

薩摩琵琶鶴絃会
最上 十太郎
031 青森県八戸市内丸九十一
電話(〇三)八七七五番

晃陽 小野 鶴彦
431-31 浜松市横志町一八三二
電話(五三)〇八七二番

錦心流琵琶
一水会中央支部
支部長 山崎 典水
事務所 新宿区北新宿一ノ五ノ二
松田殊水方電(三)六六六番

一水会神戸支部
支部長 水谷 浩水
事務所 西宮市羽衣町七ノ三四
三浦蓮水方電(七九)三三三番

一水会名古屋支部
支部長 奥村 慧水
事務所 名古屋市中区栄田町五ノ三
電話(三)八八九一

一水会名古屋支部
幹事 小川 残水
456 名古屋市熱田区千代田町一〇
電話(三)一三〇六番

相談役 土川 吟水
420 静岡市緑町六ノ一
電話(三)五八五八番

薩摩琵琶同好会
鹿兒島
890 鹿兒島市平之町二ノ一
電話(〇三)一八三七番

鎌倉宮(大塔宮)祭 奉納琵琶演奏 八月二十日拜殿

一昨年来て鎌倉に居住した薩摩馬場館林市近郊へ転住された薩摩琵琶の大家で、当代屈指の琵琶作家敬神家で高名な曾我電城こと伊集院牙城師は、南北朝時代鎌倉に幽閉され逆臣に扱われた後醍醐天皇第三皇子護良親王に深く哀悼の



(曾我電城師)

意を捧げ、明治天皇御在世に御創建の祭神(大塔宮)鎌倉宮を信仰し、毎年八月二十日の例祭日は祭神護良親王ゆかりの琵琶曲を拜殿に於て奉奏し神慮を御慰め奉ることとに努め、今年は第二十三回目に当る。来る八月二十日神社側の祭典行事終了後の午前十時半より拜殿に於て奉納演奏が厳粛に行われる。奉奏は行事責任者伊集院牙城氏の「錦の御旗」を先番に、黒沢玄城(七郷落)、樋口北舟(吉野落上)、佐藤相春(吉野落下)、更に共賛者松枝、佐藤、本庄、三

湘南四絃富士会大会



門、小関、樋口、齊藤、平野諸氏の奉奏がつづき、最後に湘南界の元老山田幻水翁が「吉野落」を謹奏して午後一時近く終了の予定である。当日神城内には武道や生花、舞踊等の催しが奉納されるので終日賑うのである。

土橋虎水師が理事長を勤めている横須賀市の四絃富士会では、風かおる六月十五日午後一時半より市立文化会館中ホールで第四十三回の琵琶詩吟大会を開催し、前田秋声顧問、土橋虎水理事長、若林、小関、大坪、今井、齊藤旭邑、藤間の各会員、賛助の新田、飯野両詩吟家と他数名、賛助琵琶名流の山田幻水、秋山錦賜、梅沢呵水、松崎洲陵、采崎純水諸師他五名等が出場して妙技を競ってファンを

(写真は当日の記念で(前列)右より鈴木江水松崎洲陵、前田秋声、土橋虎水山田幻水、秋山錦賜、藤間博水(中列)右より三門葉水、松崎夫人、若林旭洋森捧水、瀬谷香水、一人おいて齊藤旭邑、前田夫人、小保内真水。(後列)右より土橋夫人、今井旭柳、一人おいて采崎純水大坪碧水。

協会の定例研究会

日本琵琶楽協会主催の定例研究会は、六月十日午後一時より新宿区新宿一ノ一四ノ九、洲鳳会館で開催され、筑前(若き敦盛)青木旭洲、錦心(湖水乗切)青木早水、錦(青葉の笛)網野桜苑、筑前(堅田落)松元旭川、薩摩(六月二日の朝まだき)伊集院牙城、錦心(俊寛)高田栄水、講師平野健次先生。

堀田旭甲師転居

岡崎市福寿町七七住居の日本橋会専務理事兼事務局局長で大師範格の名匠堀田旭甲師は、六月下旬に同市城北町十七番地一へ転居された。日本橋会事務局も同時に移転された。電話〇五六四(21)四四五七番である。(従来通り)

三鷹市邦楽連盟会

東京都三鷹市芸術文化協会に所属している邦楽愛好会は、長唄、琵琶、小唄、箏曲、尺八等の芸能人で結成されているが、初夏公演を七月八日午前十一時半より市社会教育会館で、市教育委員会、市

長崎旭会演奏会

姫路旭会の巨匠西川旭操女師は九州長崎旭会代表として福岡の中村旭園、大阪の秋元旭長、竹本旭将、天津旭八千代、大津の伊藤旭暢の諸大家を長崎に招き五月二十八日午前十一時開演、市民会館で長崎旭会の琵琶演奏大会を開催した。後援は市教育委員会、新聞社、放送局で、主な出演者は高旗旭光、副島旭仙、村上旭周、竹本旭将、西川旭操、天津旭八千代、秋元旭長、伊藤旭暢、中村旭園の諸氏で、舞踊、剣舞の名手や琴、尺八の伴奏協賛もあり非常に盛況であった。

望月啞江師来訪

薩摩琵琶寄曲会々々長望月啞江師は、七月十日本社鈴木老宅を来訪して久し振りに快諾された。